

アジア太平洋諸国海軍大学セミナー各国発表より

海上自衛隊幹部学校は、平成 30 年 2 月 26 日（月）から 3 月 5 日（月）の間、第 21 回アジア太平洋諸国海軍大学セミナーを開催した。セミナー 3 日目の 2 月 28 日（水）に実施された研究会第 2 部においては、「高級士官教育に係る軍事専門教育（Professional Military Education: PME）への取り組み」をテーマとした各国参加者による発表及び討論が実施された。

近年の脅威の多様化に伴い、国家が直面する安全保障上の課題は多様化、複雑化している。このように見通しがきかず、かつ深刻さを増す情勢下においては、既成の概念にとらわれず現下の情勢を正しく判断し、具体的な方策を導き出し、その実現のために優れたリーダーシップを発揮できる人材が求められる。このため、各国軍にとって高度な専門性を身に付けた人材の育成は、喫緊の課題となっており、それぞれの軍において特色ある PME が行われている。

先に述べた研究会第 2 部では、ロシア海軍のプロカエフ大佐が、PME への取り組みに関し、特に秀逸な発表を行った。本稿はその発表内容の邦訳及び発表資料を本人の了解を得て掲載するものである。

（海幹校企画部企画課国際計画班）

ロシア連邦 海軍大佐 アレクサンドル・プロカエフ

おはようございます。自己紹介させてください。私は Alexander Prokaev 大佐と申します。ロシア連邦のクズネツォフ海軍アカデミーで学科長をしています（図 1）。この格式高いセミナーで我々のアカデミーについて紹介させていただくことは私にとって大きな名誉です。

私の発表では、ロシアにおいて上級士官の軍事専門教育をどのように行っているかということについて話したいと思います。

ロシアの士官に対する軍事専門教育機関は、条件付きで 3 つのレベルに分けることができます（図 2）。



The 21st Asia Pacific Naval College Seminar
26 February - 5 March 2018
Tokyo, Japan

PME Efforts for Senior Officer Education

Captain 1st Rank

Alexander N. Prokaev

Kuznetsov Naval Academy, St.Petersburg, Russia



図 1 上級士官教育のための PME への取り組み



図 2 ロシア軍の PME ネットワーク

第3レベルは最下層レベルであり、若年士官に対する将来の軍務に関する基礎的教育訓練の実施を主な目的としています。スライドでご覧のように、これらの学校は極めて多数あり、その名前のおり、ロシア軍における様々な種類の教育訓練を行っています。これらの学校のほとんどは、私の郷里、サンクトペテルブルクに所在し、その他、モスクワやトベリ、スモレンスクなどにも所在しています。

第2レベルは中間レベルであり、軍事科学教育センターと呼ばれる学校を含んでいます。陸軍のセンターはモスクワに、空軍のセンターはボロネジに、そして最後に、海軍軍事科学教育センターとその司令部は、サンクトペテルブルクに所在します。これらの学校は、極めて複雑な構成で、下士官から上級士官までの様々なレベルの軍事専門教育及び訓練を行います。

第1レベルは最高のレベルであり、ロシア連邦軍部隊の一般幕僚軍事アカデミーがあります。この機関はロシア連邦の首都であるモスクワにあり、将軍、提督等の上級士官の教育訓練を実施しています。あらゆる軍種、陸、海、空軍及び統合軍の将来の指導者のための教育訓練です。

ここで、ロシア及び他国軍で共通して用いられている用語の用法の違いについて、皆さんに説明したいと思います。皆さんの国のほとんどの士官は、基礎的な軍事教育を軍の **academy** (学校) で受けますが、ロシアではこれを **institute** (機関) で受けます。そして、反対に、高等教育を皆さんの国の士官は **college** (大学) で受けますが、ロシアではこれを伝統的に **academy** (学校) と呼んでいます。

私の報告の主題を念頭に置いていただき、軍事専門教育に関し、特に私が所属する海軍軍事科学教育センターと、最高レベルの一般幕僚軍事アカデミーの2つの学校を取り上げたいと思います、

海軍軍事科学教育センターの司令部は、ロシア帝国時代の首都であったサンクトペテルブルクにあります。この司令部は、現在では、第2次世界大戦中からその後数年間ソビエト連邦海軍の司令官であったクズネツォフ大将の名にちなんでクズネツォフ海軍アカデミーと呼ばれている海軍アカデミーの構内に所在しています。アカデミーの歴史は、18世紀初頭に始まり、軍の教育機関としてだけでなく、最古の公的教育機関としての航海学校としてスタートしました (図3)。

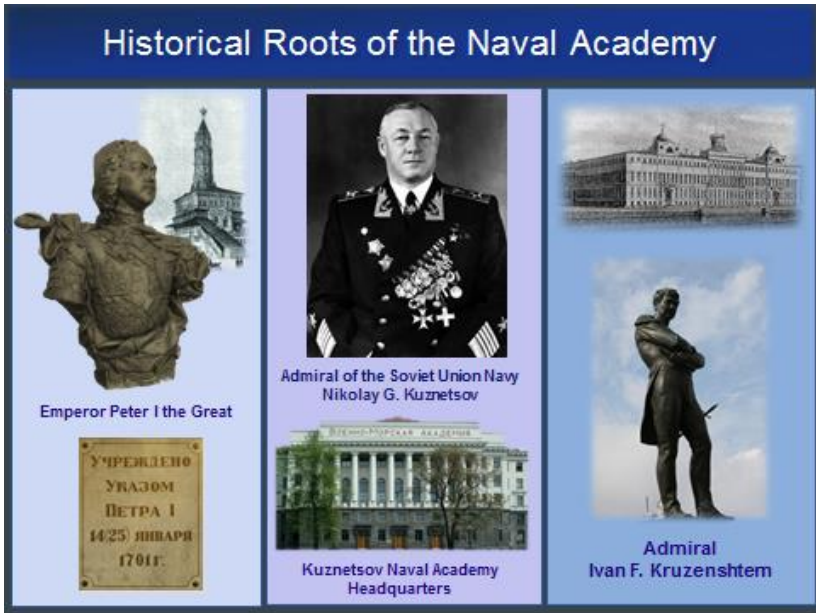


図 3 海軍アカデミーの歴史

航海学校は、ロシアでは大変有名な歴史上の人物であり、ロシア帝国の建国者であるピョートル大帝によって建学されました。長いアカデミーの歴史の中で、ロシアの多数の著名人—作曲家、作家、芸術家、科学者、もちろん提督も—がここで勉学しました。ロシアの有名な提督の幾人か、例えば、ロシア最初の世界一周遠征隊隊長のイワン・ピョートルビッチ・クルーゼンシュテルン海軍提督は、学校長でもありました。

海軍軍事科学教育センターは、非常に複雑な構造になっており、海軍アカデミーを含んでいます。さらに、海軍アカデミーは、上級作戦戦術訓練の学校を含んでいます。また、センターは、将来の士官及び下士官のための基礎的教育訓練を行う 3つの海軍学校、水上艦及び潜水艦の艦長等により上級の配置につくため又は新しい軍事特技を修得するための訓練を実施する付加的専門教育のための 1つの海軍学校、さらに、様々な科学分野、例えば、作戦・戦略研究、造船、海軍兵装、救難及び水中技術等々に関する海軍の 3つの科学的研究機関、潜水艦乗員訓練のための 2つの訓練センター、外国艦船乗員のための訓練センターで構成されています（図 4）。

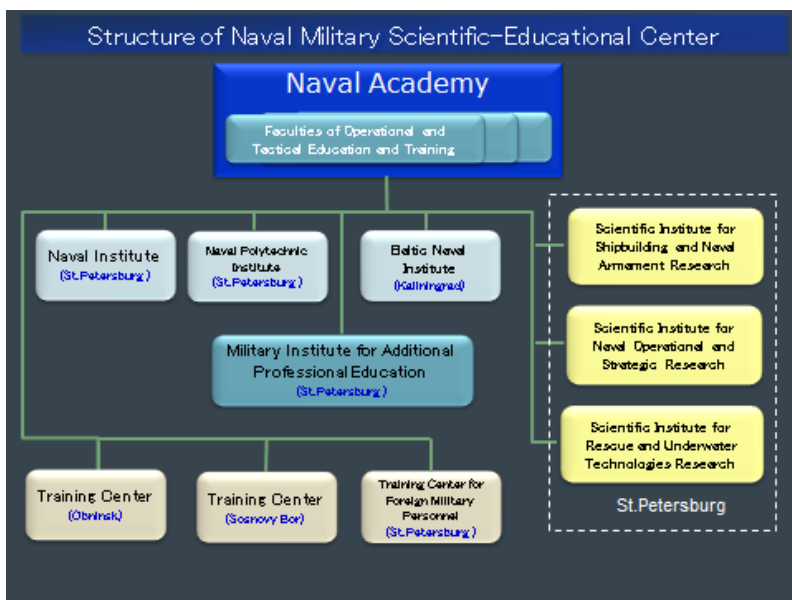


図 4 海軍軍事科学教育センターの構造

海軍軍事科学教育センターは、サンクトペテルブルク中心及び郊外に所在しています。この都市は、世界中の都市の中でも最も美しいものの1つとして世界の旅行者の間で人気となっています。郊外も美しく、ロシア革命前には皇帝が住んでいました。現在は非常に有名な博物館、宮殿、公園等が、海軍の学校施設の近傍に所在しています。

学校のうちいくつかは、別の場所、例えばバルチック海軍学校がカーニングラードに、その他、モスクワ州のオブニンスク、サンクトペテルブルク近郊のソスノヴィ・ボールに所在しています (図 5)。

Location of the Naval Military Scientific-Educational Center



図 5 海軍軍事科学教育センターの所在地

海軍アカデミーは、士官の専門性の深化と再教育のための 300 以上の課程において訓練を実施しています。それぞれの課程は、1 カ月から 10 カ月の期間です。このスライドでは、それぞれの訓練レベルにおける多数の課程を示しています（図 6）。

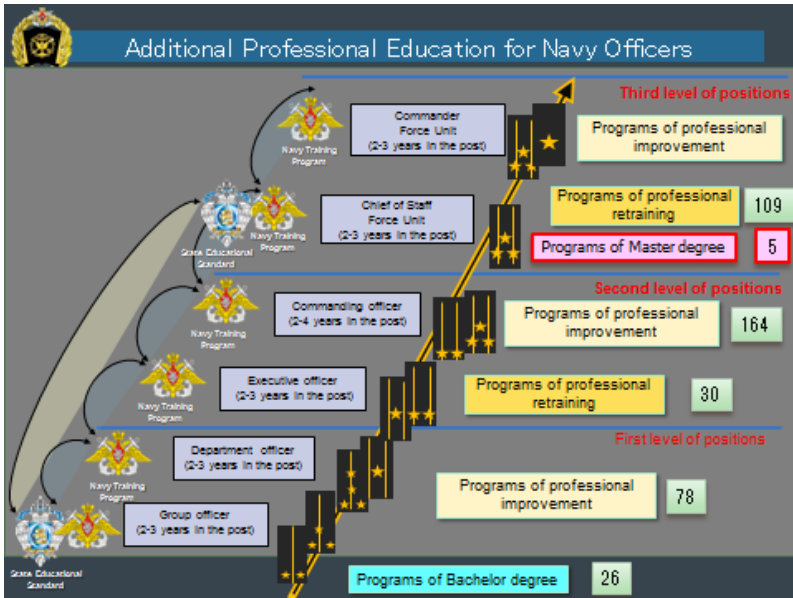


図 6 海軍士官のための PME

全ての士官は、少なくとも 3 年ごとに職種ごとの専門的術科教育を受け、また次の配置に付く前に常に専門的再訓練を受けます。

上級士官でさえ、技術職から用兵職等最初に取得した特技職を変更することができます。例えば、最初の基本的な特技職が「航海」や「ミサイル兵器」などであった士官が、10 カ月の再訓練課程を経て、水上艦艇又は潜水艦の副長になることができます (図 7)。



図 7 特技職の変更

理論的には、最初の特技職が「発電施設」などの士官が、同様な変更を行うことができますが、皆さんはそれがとても難しいと考えることでしょう。しかし、強固な意志のもとには不可能はないともいえます。

我々には、士官候補生から提督の肩章を付けるまで明確な教育訓練制度があります。すなわち、専門的向上のいくつかのプログラムから成る海軍の学校における学士のプログラムから海軍アカデミーにおける修士取得のための再教育制度（スライドの赤枠の部分）です（図 6）。

上級士官の教育訓練は、次の 5 つの特技職にしたがって実施されます。1 番目は部隊の指揮統制、2 番目は部隊の保全及び防護、3 番目は部隊に対する補給支援、4 番目は武器及び軍の装備品の製造及び開発、5 番目は原子力エネルギーの安全使用及び軍用核物質の保全です（図 8）。

Programs for Master Degree	
No.	Specialties
1	Command and Control of military units and formations
2	Security and Protection of military units and formations
3	Supply and Support of military units and formations
4	Production and development of weapons and military equipment
5	Safe use of nuclear energy and security of military nuclear objects

図 8 修士課程プログラム

全ての特技職に対応し、それぞれの教授陣がおりますが、軍人及び文民の教授はいくつかの特技職の訓練課程を担当できます。

最初の指揮統制の特技職は、上級士官に対し、大部隊、たとえば潜水艦や水上艦艇の隊或いは群、海軍航空隊の航空群、海軍歩兵の師団などの指揮官又は幕僚長としての将来の軍務に関する教育訓練を行うことを目的としています。我々のアカデミーではこの特技職が最も重要視されていますが、他の4つの特技職もまた非常に重要です。

海軍軍事科学教育センターは、ロシア連邦の士官候補生及び士官に加えて、20か国以上の海外からの海軍要員に教育訓練を実施しています。彼らは、ロシアの造船所で建造中の艦艇の乗組員と我々のアカデミーで勉強する若手から上級の士官と士官候補生たちです（図9）。



図 9 外国軍人に対する教育訓練

次に、最も高等なレベル、即ち、一般幕僚軍事アカデミーにおける上級海軍士官向けの軍事専門教育について述べます。このアカデミーは、ロシアの最も古い軍事教育機関の一つであり、最初は 1832 年にサンクトペテルブルクに創設されました。今日、ここはロシア連邦の主たる軍事教育機関であり、国防と国家安全保障に関する科学的研究を主導する中心的機関となっています。学校の任務は、戦略、国防、国家安全保障を担当する上級士官及び高位の国家公務員を教育訓練することです（図 10）。



Military Academy of the General Staff of RF Military Forces



One of the oldest military educational institutions of Russia (*created in 1832*)

Main military educational institution of Russia and leading center for scientific research of National defense and State security problems

Main purpose – education and training of senior officers and higher state officials in issues of strategy, National defense and security of the State

図 10 ロシア連邦軍一般幕僚軍事アカデミー

このアカデミーの卒業生の中には、19世紀から今日に至る多くの有名なロシアの軍事指導者が含まれます。現在では、最優秀の学生は将来的に将軍、提督、統合軍司令官、統合参謀長になります。スライドで示されている国防相、外相のような最上位の国家公務員もここで教育を受けています。アカデミーの学生は定期的に異なる軍種から成る演習に参加します。これらの演習のうちのいくつかは学生の教育のために特別に実施する例示的なものです（図 11）。

ご覧のように、主要な教育プログラムは、「国家安全保障と国防」と名付けられています。また、一般幕僚軍事アカデミーは、これとは異なるいくつかのプログラムを実施しています。例えば、外国人学生のための「国家の軍事安全保障」、国家公務員のための「軍と政府による統治及び統制」などです。

簡単に結論を述べます。第 1 に、ロシア連邦における制度化された機能的かつ生涯にわたる教育訓練が、軍事専門教育に対する取り組みの中核であることを皆さんに説明しました。我々は、2011年に、これを現代の形に設計し、継続して改善に取り組んでいます。



図 11 ロシア連邦軍一般幕僚軍事アカデミー

第 2 に、この生涯にわたる海軍要員に対する教育訓練は、現在、複合的な教育機関であり、サンクトペテルブルクのカズネツォフ海軍アカデミー内に司令部が所在する海軍軍事科学教育センターで実施されています。

最後に、海軍の上級士官に対する軍事専門教育は、2 つの教育機関で実施されています。第 1 レベルである 3 等大佐から 1 等大佐までは海軍アカデミーで、第 2 レベルである 1 等大佐から全ての階級の提督までは一般幕僚軍事アカデミー、すなわち、ロシア連邦の主たる軍事教育機関で実施されています (図 12)。

ご清聴、ありがとうございました。



Conclusions:

- ① In Russian Federation harmonious well acting system of **lifelong military training and education** is the core of PME Efforts
- ② Lifelong training and education of **Navy personnel** is implemented in the Navy Military Scientific-Educational Center
- ③ PME of **Navy senior officers** is implemented in two main educational institutions:
 - *from Captain 3rd Rank to Captain 1st Rank* – in Naval Academy - the Headquarters of Military Scientific-Educational Center;
 - *from Captain 1st Rank to Admiral* - in Military Academy of the General Staff of RF Military Forces.

図 12 結論